

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL/fax 024-575-4355

9月の主な行事

9月4日（金）8月9月生まれ利用者誕生会
5日（土）土曜利用日
8日（火）工賃支給日

9月誕生日のみなさん おめでとうございます

岡崎勝彰さん（9月3日）
誕生日おめでとうございます。誕生会は、8月生まれの皆さんといっしょに9月4日に行います。お楽しみに

ジェラートを食べて、 遠足気分！？ 味わう



この日は日本ジェラート協会が定めた「ジェラートの日」でもあり、タイムリーな行事になりました。

注文したジェラートを受け取る利用者さん



移動販売車が玄関前に到着

残暑がまだ厳しい8月27日、あぶくま福祉会に国見町のジェラート移動販売車Gelato 319が来所しました。今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、外出行事がすべて中止になり、利用者さんたちの楽しみがなくなり、利用者さんたちに楽しい行事を企画することになり、「ジェラートの集い」を行いました。当日は、ほどはら授産所前広場に車が来てくださり、各班ごとにダブルのジェラートを買って求め、食堂に移動してジェラートをいただくことにしました。普段は、作業中心の毎日ですが、こうした集いで冷たいアイスをいただき、暑さを忘れ楽しい一日になりました。



社長さんからジェラートを受け取る利用者さん

利用者さんからは、おいしかったぁ。また来てほしい、次は焼き鳥？焼き芋？などなど感想、要望などが聞かれました。この行事はだての郷でも行われ、利用者さんたちがジェラートを購入し、おいしくいただきました。

法人最大のイベントあぶくま祭も中止が決定しました。（4 ページに関連記事）当施設では、当分この新型コロナウイルス感染症予防のため、行事自粛は続くものと覚悟し、今後もこのような形の代替行事を行っていくことにしています。



二つの味を選んで味わう利用者さんたち

食育コラム

このコーナーは、給食委託業者の㈱メフォス福島支店佐藤係長さんの食育コラムです。今回は、お月見がテーマです。

お月見/十五夜/中秋の名月



株式会社メフォス福島第一事業部
福島支店第2課係長 佐藤 久美

まだまだ残暑厳しい日が続くと予想される今年の秋です、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもありますので体調管理には充分注意しましょう。

秋は美味しい食べ物がたくさん収穫され、食卓に並ぶのが楽しい季節ですね。

そんな秋の収穫を感謝する日本伝統行事の一つがお月見です。

お月見は、昔の暦の8月15日に秋の美しい月を鑑賞する行事で「十五夜」とも呼ばれています。昔の暦で秋は現在の7月～9月に相当し、秋の真ん中は8月、さらに8月の真ん中の15日頃で中秋の名月とも言われているそうです。

月に見立てた団子を、神様を迎える目印となるススキや旬の作物と一緒に供えます。

～旬の作物は里芋が一般的だそうで「芋名月」との異名もあるようです。～

お団子は、白玉粉や上新粉で作ります。豆腐を混ぜるとなめらかになり、食べやすくなります。団子の数は十五夜にちなんで15個であったり、1年の月数である12個であったり、地域により様々です。今年の十五夜は10月1日です。この日にご家族でお月見を楽しんでみてはいかがでしょうか。

シリーズ 作業班訪問② 段ボール班

このコーナーでは、今年の作業班の活動の様子を紹介しています。第2回目は、段ボール班の皆さんです。

段ボール班は、地元王子コンテナ福島工場からの下請け作業として、段ボール箱の組み立てや仕切り組を行っています。今年度初めに新型コロナウイルス禍のため一時受注減がありました。今は戻り昨年度の決算額を目標に頑張っております。



段ボールを熟知した職人集団 段ボール班の皆さん



段ボール仕切り組作業の様子

現在、段ボール班は男性4名、女性5名の9名、シルバー職員3名、担当職員1名の13名で毎日作業に取り組んでいます。皆さん作り方はもちろん、段ボールの種類ごとの特徴（強度など）を熟知したいわば職人集団です。

段ボールと一口に言っても、とても繊細な面を持っていて、わずかな力加減で製品の良し悪しを左右します。厚さも薄いものは2ミリ、厚いもので5ミリまで多種に渡り、組み立て方も1つ1つ違います。受注先から預かってくるのは「半製品」という1枚のシートになったものを注文数分運んできて授産所で加工します。シート状の材料をばらし、バリを取り、仕切りを組み立てるという工程です。その中で、少しでも力を入れすぎると材料が破れて使い物にならなかったり、集中しないとバリを取り忘れたりなど、皆さん常に緊張感を持って取り組まれています。また、製品を梱包して出荷する際にも不注意で落としたり、ぶつけたりすると角がつぶれて不良品となってしまいます。たかが段ボールとおもわれがちですが、とても繊細で注意を必要とする作業です。

私自身、時々スーパーで買い物をしていて、ふと目を止めると品出しをしている社員さんの傍らに積んである箱に見入ってしまいます。それが授産所で受注している製品であった時、思わず箱の中を覗いて中仕切りを確認したい衝動にかられてしまいます。それほど生活に密着した作業を班の皆さんがしており、まさに物流の一翼を担っているのだな、と実感する瞬間です。

段ボールは近年、自然災害対策にも活用が期待され、避難所での簡易ベッドや最近ではコロナ禍中のパーティションなどにも活用されています。今後ますます需要は高まり、生活に密着したものになる段ボール作業に貢献するみなさんは、社会の大きな期待にこたえ、自信と誇りをもって、今後も頑張ってください。

（段ボール班担当：木村光永目標工賃達成指導員）

ほどはら授産所・だての郷 保護者会合同役員会開く！



あぶくま祭実施について協議する役員の皆さん

8月25日、ほどはら授産所で、秋の行事あぶくま祭の実施可否について、共催団体であるだての郷とほどはら授産所の保護者会合同役員会を開き、協議をしました。新型コロナウイルス感染症拡大が心配され、多くの皆さんが集まる行事は控えることになり、中止にすることにしました。そのほか、施設の修繕、今年度後期の行事について、各施設から説明がありました。

ほどはら授産所の BGM継続に！

(株)USENのコロナ感染防止メッセージ付き放送機器無償提供事業で、8月末まで機器を設置し、利用者さんから好評で、継続の希望が多く有償となりますが引き続き設置することにしました。これからも音楽を聴きながら作業を行ったり、休憩時間を過ごすことができるようになりました。

あぶくま福祉会職員異動の お知らせ

退職 だての郷主任

佐藤 浩明

(令和2年8月31日付け)

ほどはら授産所とだての郷で利用者さんの支援員として、11年余にわたってお勤めいただき、今般願により退職となりました。長い間、利用者さんへの支援ご苦労様でした。

あぶくま福祉会
だより
令和2年9月号

理事会・評議員会開催 法人の財産取得案を承認！



理事会召集あいさつをする吉田理事長



評議員会議長あいさつをする木谷評議員

8月3日、当法人本年第3回理事会をほどはら授産所で開き、評議員の辞任報告と、財産の取得と評議員会の開催日時について審議され、いずれも原案どおり承認され評議員会に送られました。

8月11日には当法人本年第3回評議員会を同会場で開き、財産の取得について、原案どおり承認されました。今回理事会と評議員会で承認を受けた財産の取得は、社会福祉充実計画事業執行に伴うものです。

編集後記 ▶今年の夏は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントがほとんど中止。秋に入っても収束の見通しが立たないことが予測され、当法人のあぶくま祭も中止の決定。施設行事もできず今回のジェラートのつどいは有意義なものになりました。Gel a319の皆様に感謝です。▶食育コラム秋号、メフォスの佐藤さんには玉稿を寄せていただきました。お月見の意味を分かったうえで楽しむとまた趣がありますね。ありがとうございます。▶当法人ホームページの更新をこのほど行いました。時間があったらご覧ください。検索 あぶくま福祉会でどうぞ。まずはお知らせの記事で広報紙を今年度4月分から載せました。今後随時更新しますので、お楽しみに!! (M)